

当センターをご利用のご家族様からいただいた情報です

## 『 1月の能登地震で被災された医ケア児家族について 』

2024年1月1日に起こった能登半島沖地震について体験談の共有です。当事者のお声です。

能登の地震の時、金沢市から能登に帰省していて震源近くにいました。

1回目の警報が鳴ってすぐ地震がきて、2回目の地震が来るまで1分あるかないくらいでした。

その短い時間で家から脱出することは難しく家の中にいました。

地震が来た時は大人の男の人でも立ってられず、何かに掴まっているのがやっとな。手を離したら飛ばされるようなすごい揺れでした。地震で家が軋む音と地響きのようなすごい音がしていました。

私は子供の頭を守るだけで精一杯で、何をすることも出来ませんでした。地震がおさまったあとすぐ、スマホも持たずに靴も履かず裸足で子供を抱えて外に出ました。

(スマホはテーブルの上に置いてましたが揺れで吹っ飛んでたし、玄関がグチャグチャでドアも外れ、靴を取りに行きたくても、そこまでにガラスが落ちてるから、靴を履きに行けませんでした)

今回は幸いパパも一緒に帰っていて障がいのあるお兄ちゃんを連れ出すことができました。

実家の両親は高齢で病気もあり、20キロある孫を抱えて逃げられませんか。パパが帰省してくれていてよかったです。

今回実家が何とか建っててくれたので逃げる事が出来ましたが、あの揺れでは家が潰れて閉じ込められてもおかしくない状況でした。

地震で私の車はガラスが割れてました。

今回たまたま車2台で帰省してたので遠くに停めて無事だった夫の車に避難してました。

地震が少し落ち着いてきた時に実家に荷物を何回かに分けて取りに行けました。

夜になり実家の親が私達に「子供もいるので金沢に帰れ」と言われ、通行止など道路状況を友達に聞きながら22時頃やっと金沢に帰ってきました。

その中で1番困ったことは、避難中にオムツ替えスペースがないことでした。

年末年始で長期で帰省する予定だったので、薬や着替え、オムツ等はたくさん持って行ってましたので大丈夫でしたが、その大量の荷物で車内はいっぱいで、車の中で子供を寝かせてオムツ交換するスペースが全くなく、夜の寒い外で親2人で抱えながらオムツを替えるのが精一杯でした。

その次にご飯に困りました。

とりあえず食べれるものを家から持ってきて、寒いのに冷たいものをあげる事しかできませんでした。

量もいつもの半分くらいでした。

今回私が思うよかった点は

家が潰れなかったこと、車もガラスは割れたけど動かされたこと、2台で帰ったこと、荷物や薬を取り出したこと、冷たいけどご飯、水分あげられたこと、孤立しなかったこと、金沢までの道がどうにか通れて帰って来れたこと、金沢の家が無事で帰るところがあったことなのかなと思っています。

実家近くの福祉避難所は把握していませんでした。今回たとえ能登に残ることになっていたとしても避難所に行く選択肢ありませんでした。車中泊を選んでいたと思います。

地元では避難所自体も被災して使用できないところも多く、家が全壊、半壊の人が優先される傾向にあり、それなりに無事の方は家に残る人が多い状況だったようです。

いつどんな状況の時に地震がやってくるかわからないので備えるのは難しいですが、できる備えはしようと思って簡易トイレとか水入れるケース買いました。

親曰く。給水用の水の入れ物について、折りたたみのソフト系はとても使いにくいそうで、使わない時は場所をとるけどハード系の給水タンクがいいそうです。もらってきた水の入れ替えやりやすいそうです。

あとは水ケースのコックが止まって流し続けることができるものでないと顔洗う時とかやりにくいそうです。

長々とすみませんでした。

何か今後のお役に立てればと思い報告させていただきました。

各自で備蓄しておくことは大前提なのですが、療育や買い物中など外出先で被災したり、時間帯によっては家族バラバラ（仕事や学校など）だったり、自宅が潰れたり、自宅周りの道路が塀などが崩れてふさがれた場合、車はもちろんバギーの使用もできなくなります。その場合の移動手段を考えないといけません。

車に備蓄する際も、灼熱の夏場は食べ物おきたくないな、とか、冷たいと食が進まない子や、ミルクでお湯が必要な子は車から電源取れる車載インバーターあったほうが良いのかな？とか、薬の備蓄どうしようとか特に呼吸器や吸引の必要な子は停電対策を考えておかなければ心配です。金沢市では蓄電池は「医療的ケア児」と「重症心身障害児（者）」が助成対象になっていますが、他の自治体では対象になっていない所も多いようです。また京都市は福祉避難所は家族と住む障害児は対象ではありません。

対象にしてもらえるよう、「今回の震災で危機感を覚えました」と要望を伝えていく必要があると思いました。

来月、蓄電池&ポータブル電源のZOOM勉強会に参加する予定です。

金沢の在宅診療所の方が主催していて、医療ケア児に必要な電力数や、使う機器によってオススメの蓄電池を教えてもらってきます。

2024年2月記